

富士通の映像ソリューションを実現する製品／サービス

映像システムコンポーネント

映像圧縮／伝送 リアルタイムネットワーク伝送
リアルタイム映像伝送装置「IPシリーズ (BroadSight)」 製品

映像収集／蓄積 映像データの蓄積／管理／編集、VOD／スケジュール配信
映像収集・蓄積ソフトウェア「FutureYell (BroadSight)」 製品

映像配信 インターネット／イントラネット向け大規模映像配信
マルチデバイス／ハイビジョン対応映像配信 SaaS
「FENICS IP ビデオ配信サービス」 サービス
ネットTV仕様対応大規模映像配信ソフトウェア
「Million Stream (BroadSight)」 製品

暗号化／DRM 映像コンテンツの不正コピー防止、ライセンス管理
Marlin 対応コンテンツ保護システム用組込み機器向けライブラリ
「Inspirium DRM ライブラリ for Marlin」 製品
Marlin 対応コンテンツ保護システム用ライセンス配信サーバソフトウェア
「Inspirium DRM サーバ for Marlin」 製品

CDNサービス インターネットコンテンツ配信の負荷分散／レスポンス向上／安定化
コンテンツ配信の負荷分散／レスポンス改善を実現するインターネットCDN
「FENICS Web高速配信サービス powered by Akamai」 サービス

映像処理クラウド 映像処理機能をクラウド上からインターネット経由で提供
様々な映像変換／蓄積／検索／解析処理基盤をクラウドで提供
「メディアクラウド」 サービス
クラウドと映像処理技術により自治体の橋梁点検業務を効率化
「Super CALS 橋梁点検支援」 サービス

富士通の映像技術

映像技術 富士通研究所によるメディア処理に関する最新研究技術
動画／画像処理に関する富士通の最新研究技術
「フロントエンドメディア処理」 技術

映像デバイス 富士通の映像技術を活かしたデバイスコンポーネント
業界をリードする高画質／高速映像処理 LSI
「H.264 映像処理 LSI」 デバイス
車載用カーナビ、ダッシュボード、センターコンソール向けグラフィック処理
「自動車用 GDC」 デバイス
デジタルカメラ／ビデオカメラ／携帯電話向けイメージングプロセッサ
「Milbeaut」 デバイス

映像活用ソリューション

デジタルサイネージ ディスプレイを使った広告表示／インフォメーション配信
企画／導入からコンテンツ管理基盤の SaaS / 運用サポートまでトータルに提供
「デジタルサイネージサービス」 サービス
デジタルサイネージ向け大画面インタラクションシステム
「UBWALL」 製品
デジタルサイネージシステム「Plasma Wave」 製品
円柱に取り付け可能な曲面ビジョン
「Super Frontech Vision-Round Signage (プラズマチューブアレイ)」 製品

TV会議／Web会議 遠隔地間での双方向リアルタイムコミュニケーション
SaaS 型、自社構築どちらも選択可能な Web 会議システム
「Join Meeting」 製品 サービス
Web ブラウザを利用し、簡易に導入できる SaaS 型 Web 会議システム
「Cisco WebEx Meeting Center」 サービス
Cisco 社製 等身大ハイビジョン会議システム
「Cisco Tele Presence」 製品
HD 対応のビデオ会議システムを、卓上用から会議室向けまで幅広く提供
「Cisco Tele Presence Video」 製品

映像監視 映像監視データの蓄積管理、映像解析による監視業務効率化
監視映像データの圧縮保存により長期保管と証拠管理を実現
「監視映像長期保存サービス」 サービス
アナログメーターの検針作業を自動化／デジタル化し監視作業の負荷軽減を実現
「アナログメーター認識システム」 製品
遠隔地の工場や現場などの様子をモニタリングしてリアルタイムで状況把握
「遠隔モニタリングソリューション」 製品

eラーニング 動画教材を活用した教育コンテンツ配信、学習管理
実績 No.1 の LMS による SaaS 型 eラーニングサービス
「e-Learning Navigware」 サービス

富士通の映像ソリューション



映像とICTの融合による新たなビジネスシーンの創造

●記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
●本カタログに記載の仕様は、改善のため予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。
●Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

本カタログ掲載の各種映像ソリューションおよび構成商品の詳細、導入事例等については下記のホームページをご覧ください。
富士通の映像ソリューション : <http://fenics.fujitsu.com/media-solutions/>

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン
(総合窓口) **0120-933-200**
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

「映像×ICT」が実現する豊かで高度な映像ソリューション



映像技術の変化と進化の中でソリューションを創る

いま映像の利活用は一大進化の時代を迎え、企業、個人を問わずネットワークを利用することで動画、音声、画像などを世界に発信することができるようになりました。ICTの発展は映像を処理・配信するコストを劇的に下げ、さらに機器の小型・モバイル化が場所、時間、ユーザーを問わずだれでも映像を表現・伝達することを可能にしました。

富士通は「映像×ICT」によって映像新時代における、「高度で豊かな映像ソリューション」を創造していきます。

長年にわたる映像技術がICTと融合し花開く

富士通は、長年にわたり最新映像技術の研究開発、実用化に取り組んできました。例えば動画圧縮技術への取り組みは30年前にさかのぼり、特にH.264による富士通独自の圧縮技術は、高画質を求める放送業界においてグローバルで高い評価を得ています。また近年のデジタルコンテンツ流通の拡大により重要となる、コンテンツの不正コピーを防止するDRM (Digital Rights Management) 技術の開発・実用化や、動画や音声データに含まれる内容を解析し、より見つけやすく・活用しやすくする技術開発などにも取り組んできました。

富士通は、これらの映像技術をよりハイレベルなICTと融合させ、映像をより便利に使いやすくだれもが活用できる、豊かな社会の実現に貢献する映像ソリューションをご提案します。

お客様とともに市場ニーズを創造する映像ソリューションの数々

すでに富士通の様々な映像ソリューションが幅広いシーンで活用されています。動画コンテンツのネット配信プラットフォームから、急速に拡大するデジタルサイネージ、大規模なデータ配信を高速化・安定化するCDN、映像を使ったコミュニケーション・ナレッジ共有・eラーニング、放送業界向けソリューション、高度な解析技術を活用した映像監視の実現など、お客様の映像活用を拓げるソリューションをご用意しています。

さらに、これらの経験と実績で培われたノウハウと強力なクラウド基盤、最新映像技術を結集したプラットフォームを目指しているのが富士通の「メディアクラウド」です。この映像に特化したクラウドサービスは、お客様が映像サービスを実現する際のハードルとなる高度・大量・高負荷な映像データ処理をクラウド上で実現し必要なときにいつでも簡単に利用できる環境をご提供していきます。

次世代の映像・コンテンツ配信がお客様のビジネスを拓く

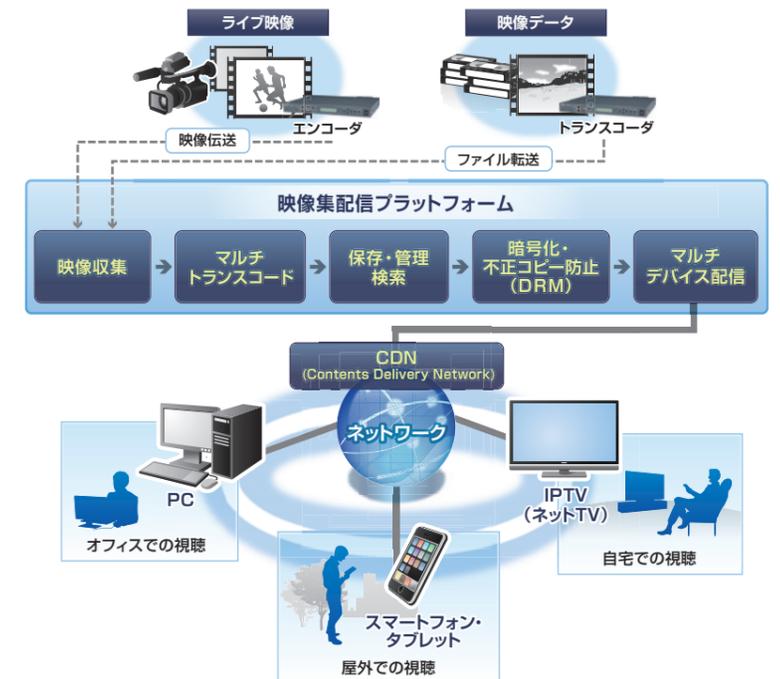


映像集配信プラットフォーム / DRM (Digital Rights Management)

高画質映像をあらゆる端末に高速／安全に配信

映画・アニメの有料配信、イベント／スポーツのライブ中継、オンライン講義／セミナーなど、ハイビジョン映像をインターネットを通じて大規模に配信するビジネスが急増。さらに視聴機器も従来のパソコン中心からデジタル家電、スマートフォン／タブレットへと多様化しています。

富士通は、高度な映像圧縮／伝送／不正コピー防止等の技術とクラウド基盤の融合により、HD映像の収集から蓄積管理、暗号化、ネット配信までをトータルにサポートするプラットフォームを提供。映像コンテンツの視聴スタイル拡大と低コスト化のニーズに応えます。



利用シーン例

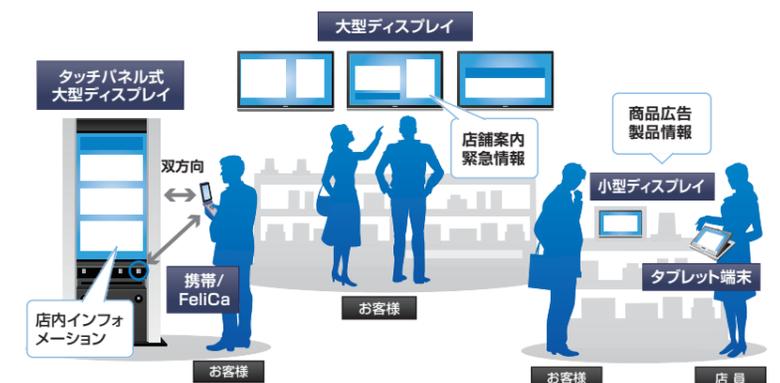
- 多地点からの映像収集・蓄積管理・配信
- 動画コンテンツの有料オンライン販売
- イベント映像のインターネットライブ中継
- 遠隔ライブ講義／自習ビデオ配信／Webセミナー
- 商品PR映像配信／ECサイト連動
- デジタルコンテンツの不正コピー防止



デジタルサイネージ

多様な端末や双方向性を活かした柔軟な情報発信

急速に拡大するデジタルサイネージの世界では、大画面を活かした不特定多数への情報発信だけでなく、訪れるお客様一人一人のニーズに合わせたきめ細かい情報提供が求められるようになりました。富士通は、一般的な大型ディスプレイから、タッチパネルによるインタラクティブな情報検索を実現する専用装置／タブレット端末などの様々な表示デバイスと、SaaSとしての利用も可能なコンテンツ管理／配信システムを活用し、お客様と利用者にとって最適なデジタルサイネージを実現します。



利用シーン例

- 店舗案内／商品広告／催物案内／クーポン配信
- 緊急時の災害情報／誘導案内等の表示
- 交通機関での広告／運行情報表示
- タブレット端末を使った商品説明／接客対応
- エントランス／ショールームでの館内インフォメーション
- 社内向け情報掲示を行う企業内サイネージ

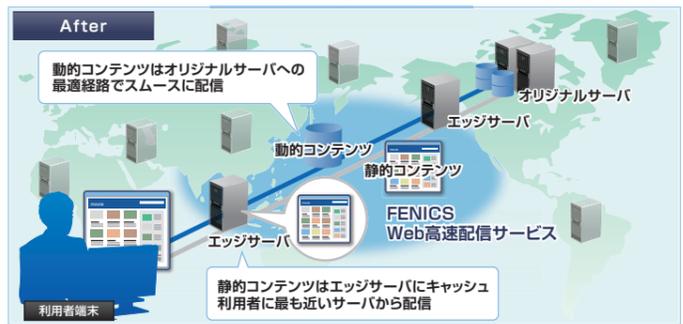
日々の仕事を映像でもっと効率的に分かりやすく

CDN (Contents Delivery Network) サービス

インターネット配信のボトルネックを解消

Webシステムやネットワークのリソース不足で多くのWebサイトのアクセスを処理しきれない、あるいはリソースには余裕があっても海外のお客様からはサイト表示が遅いなどの課題を抱えていませんか。

富士通が提供する「FENICS Web高速配信サービス」は、商品キャンペーンやニュース報道などの突発的なアクセス集中への対応、大容量動画/データの大規模配信、海外向けホームページやECサイトのレスポンス改善、止められない情報発信の障害対策をバックアップセンターを使わずに実現するなど、インターネットビジネスの要となるWebインフラを力強く支えるソリューションを提供します。



利用シーン例

- イベント/商品発表時のアクセス集中負荷軽減
- Webサイト/ECサイトのレスポンス向上
- 公共性の高い情報発信における確実性の確保
- 海外からのアクセス速度、通信安定性の向上
- 大容量ファイル/高画質映像の大規模配信
- センタ隠蔽によるアタック防止/DOS攻撃対応

映像コミュニケーション

映像によるナレッジ共有/情報発信を促進

社内放送によるトップメッセージの迅速な伝達、ビデオ会議、動画を活用したeラーニング、映像コンテンツ資産のライブラリ化など、圧倒的な情報量と伝達スピードを持つ「映像」を中心とした社内外とのコミュニケーション、情報共有/発信のニーズが高まっています。

富士通は、IPネットワーク経由の映像集配信システム、動画/画像共有サイト、Web会議サービスなどのソリューションによって、時間や場所を選ばない人と知識のコミュニケーションをフレキシブルかつ低コストに実現します。



利用シーン例

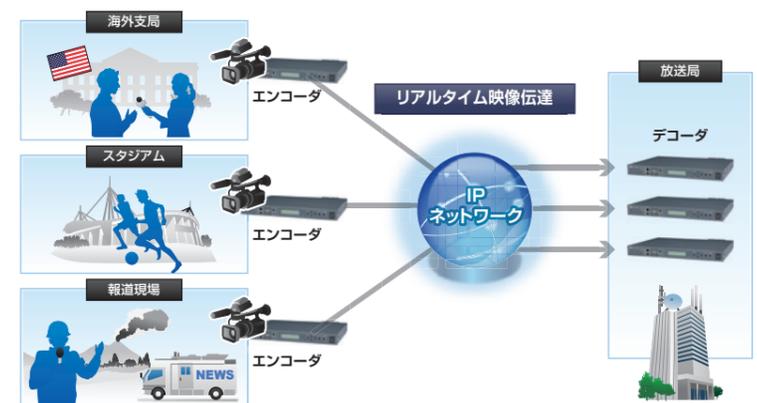
- DVD配布/衛星放送などの効率化とコストダウン
- トップメッセージや商品情報などの社内ライブ/再放送
- 動画や写真の投稿によるスピーディな報告/情報共有
- 映像資産のライブラリ化による利活用の向上
- 複数拠点間の双方向多元中継
- 国内外/モバイルからのリアルタイムWeb会議

最新技術で現場業務を改革

ON AIR 放送業務向けソリューション

世界の放送現場におけるHD映像化を牽引

大画面テレビ普及に伴い、撮影現場のHD映像化が急速に進んでいます。必要とされるのは、撮影したHD映像をインターネットなどの低帯域回線を経由して伝送、中継するための圧縮技術、あるいは情報カメラで記録したHD映像を保存・蓄積し、必要に応じて素早く取り出すツールです。富士通は、世界の放送会社より高い評価をいただいた映像伝送技術と、映像機器とICTを含めたトータル的なシステムインテグレーションにより、放送現場における最適なソリューションを提供します。



利用シーン例

- 取材現場/支局からの放送素材リアルタイム伝送
- IPネットワークによるハイビジョン映像中継
- スーパーハイビジョン映像伝送
- 定点カメラ遠隔モニタリング
- 過去映像資産のファイル化/ライブラリ化
- 自動メタ情報付与による素材検索/管理の効率化



映像監視ソリューション

高度な圧縮・画像処理技術で映像監視を進化

防災・防犯・情報セキュリティ対策の決め手となる映像監視。映像技術の発達により、遠隔管理、長期保存、事後解析などの監視業務の高度化/効率化をもたらします。

富士通は、マルチベンダのカメラによる監視システムの構築や、独自の映像圧縮技術により監視映像の長期保存と証跡管理を可能にします。また高度な画像解析技術を活用し、監視映像からの移動体(人)検出、立ち入り禁止エリアへの侵入検知、通過人数カウント、滞留時間測定、アナログメーターの遠隔監視などのインテリジェント監視を実現します。



利用シーン例

- IPカメラ/アナログカメラを活用した監視システム構築
- 監視映像データの圧縮保存による長期保管/証跡管理
- 多拠点/多数の定点監視カメラ映像の集中管理
- 映像解析技術を活用した監視業務の効率化/省力化

富士通の先端映像技術の活用

メディアクラウド (Media Cloud)

静止画・動画などのメディアデータを処理するための様々な先進映像技術をクラウドで提供

企業・個人を問わず、ネットワークを利用して映像コンテンツを気軽に発信閲覧できるようになり、その活用シーンは今後ますます増えていくと考えられます。

映像コンテンツは文字情報だけでは表せない多くの情報を効果的に伝えられる一方、お客様のソリューションで利用するには、専門的な知識や高負荷な処理に耐えられるシステム環境が必要とされ、導入へのハードルとなる場合もありました。

メディアクラウドは、映像コンテンツの高度な処理に必要な最先端の映像技術を当社のクラウドプラットフォームから簡単に利用できるサービスを提供することで、お客様の新たなビジネスにおけるソリューションやサービスへの容易な映像コンテンツ活用をサポートします。

見たい映像コンテンツを瞬時に検索

映像コンテンツは情報データと異なり、見たいシーンを探したり、含まれている内容を確認することが容易ではありません。

メディアクラウドは、映像コンテンツを情報データと同じように扱うことができるよう、映像技術を応用して内容を解析し、インデックス化する仕組みを備えたプラットフォームです。

さまざまなソリューションに映像処理を組み込み

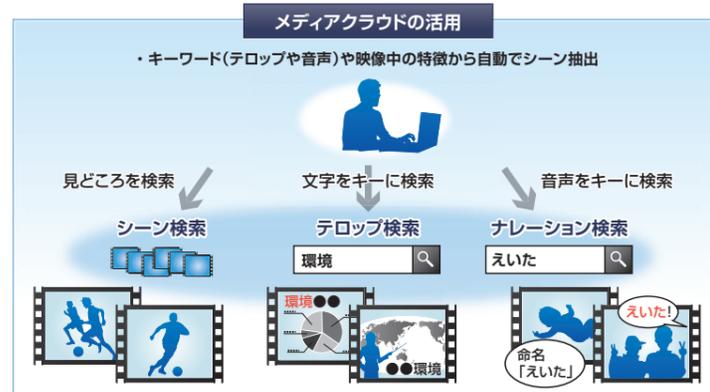
業種アプリケーションや企業内アプリケーションで映像コンテンツを扱う機会が増えてきています。しかし、映像処理を組み込んだ開発は専門知識が必要であり、開発コスト・システム設計が容易ではありません。

メディアクラウドは、映像処理ライブラリや分散処理の仕組みをXMLをベースとしたAPIで簡単に組み込むことが可能であり、既存アプリケーションへの付加価値創造を短期間で実現可能です。

企業から個人まで映像コンテンツの有効活用

映像コンテンツは、閲覧する端末の普及、ワイヤレスネットワークの進化によりいつでも・どこでも気軽に利用できるようになりました。

公共・企業活動においても、営業用ツール、企業内コミュニケーションツールだけでなく、現場作業端末やタブレット端末とのクラウド連携などの利用シーンも増えてきています。メディアクラウドは、お客様の様々な業務を支えるプラットフォームとしてお客様とともに進化を続けていきます。



クラウドで提供される機能例

- 映像のシーンや音声/テロップから見たい部分を検索
- 画像/動画の色や明るさを補正して見やすく
- テキスト翻訳と音声合成による自動翻訳
- 動画素材のオンライン編集
- 大量の動画素材の高速エンコード/トランスコード
- 画像解析を活用したインテリジェント映像監視

映像・メディア技術研究

機器からヒトへと歩み寄るインターフェースをめざして

パソコンや携帯電話、デジタル家電、カーナビなどのICTを活用した機器とユーザーとのインターフェースとして、映像・音声・文字や図形の役割はますます重要になっています。富士通研究所では、人にやさしいサービスを提供するために必要な、機械が人間に歩み寄るインターフェース技術として、音声合成、音声処理、手ぶれ補正、電子ペーパー、画像圧縮、文字認識、自動画像補正、動画のシーン認識/検索などの最先端の技術研究を進めています。



研究技術の例

- 画像圧縮技術
- 音声合成/音声信号処理技術
- 文字認識技術
- 自動画像補正技術
- 自動車でする新技術
- カラー電子ペーパー

映像関連デバイス

世界の映像機器を支える富士通の画像処理デバイス

デジタルカメラ、ビデオカメラ、携帯電話などの高画質化を支えるのは、増大する画像処理データを高画質かつ高速で処理する技術とそれを実現するデバイスです。富士通は、長年にわたり世界のカメラベンダーから高く評価されてきた画像アルゴリズム、H.264のコーデック技術をさらに進化させ、高画質静止画、高精細なフルハイビジョン動画を支えるデバイスを提供し続けています。

映像関連デバイスの例

- デジタルカメラ/ビデオカメラ向け画像処理 LSI
- MPEG-2/H.264 映像処理 LSI
- 自動車向けグラフィック処理 LSI

